

ひめだ高宏ニュース

No. 982

13.10.23

日本共産党 和歌山市会議員

ぼくらはみんな生きている

10月13日、アンパンマンの作者・漫画家・やなせ一
 たかさんが亡くなりました。やなせさんはデザイナー、
 編集者、作曲家、シナリオライターなど多彩な経歴の持ち主です。私は20歳の頃、やなせさん作
 詞の「手のひらを太陽に」へいずみたく作曲を適
 当な振りで踊り歌っていたことを思い出しました。

安倍政権の暴走ストップ!

10月21日(月)17時50分
 から西の丸広場で、STO
 P、暴走機関車、今ここで
 反撃の狼煙、いのちを守れ!
 10・21市民集會が開かれ、
 私、ひめだも南畑さち代市
 議と一緒に参加しました。
 松坂みち子市議はうたごえ
 オールスターズでアコース
 トの伴奏をされました。
 3台の宣伝カーは、電飾
 付きで、実行委員会が用意

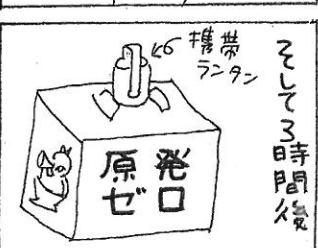
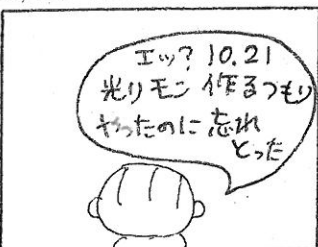
した提灯を持って、る人も大勢いました。

集會は、①原発ゼロ、②消費増税、③介護保険改
 善、④TPP、⑤憲法、⑥
 オスプレイと自衛隊訓練、
 ⑦ブラック企業について、
 各代表から報告や決意表明
 がありました。一人一人の
 話の中身は良かったものの
 立ったまま1時間は、少
 なりました。

集會アピール採択のあと、
 大新公園までアピール行進。
 今回は行進参加者を要求ご
 とに3隊に分けて、3台の
 宣伝カーごとにシュプレヒ
 コールの中身が違おうとい
 うのがユニークでした。行進
 の最後で提灯のロウソクの

フリーの人々

<165>



灯は消えましたが、私の光一りモンは消えませんでした。

こんにちは
 日本共産党の
ふじい健太郎
 です。
 (その390)

よりよき介護をめざして
 介護についての「シン
 ポジウム」を開きます。
 11月9日(土)午後2
 時から、会場は太田のわ
 かやま市民生協組合員ホ
 ール(JR和歌山駅東口
 から東へまっすぐ400
 m行ったところ)です。
 主催者は和歌山市社会
 保障推進協議会(日本共
 産党も加入)と介護保険
 の改善を求める和歌山実
 行委員会です。

シンポジウムの基調報
 告と助言者は、京都女子
 大家家政学部教授の石田
 一紀さんで、専門は「介
 護」です。著書に「介護
 を支える基礎知識」「高

齢者に対する支援と介護
 保険制度」など多数、論
 文で介護保険制度の改定
 が軽度者の介護保険は不
 しになっていることを口
 発するなど、介護研究の
 第一線で活躍されている
 方です。
 介護事業所、介護して
 いる家族、そして和歌山
 市の介護保険課長も登壇
 します。
 当日はごこの家庭にも
 ある日用品を少し工夫し
 て作った介護用品の展示
 もしています。来年は介
 護事業計画の目直しの日
 です。よりよき介護をめ
 ざして、多数の皆さんの
 参加をお願いします。



ふじい健太郎
前市議員

深山にメガソーラー発電所設置

関空の土取跡の所有の土地に太陽光発電所設置運営の募集をした和歌山市と応じた大和リース(株)など3社の連合体は10月15日(火)に協定書の調印を実施

この計画は市の35万7千45㎡の土地を年350万円/㎡(年/億2521万円)で22年間貸し付ける。地代とは別に売電金額の3%の協力金が支払われるとい



うものです。14(H26)年6月から着手し、16(H28)年4月から発電をめぐす

このことです。発電量は、年2220、48MWh(約4732世帯分)で、事業者は大和リース(株)、設計・施工は大和ハウス工業(株)、維持管理は(株)ダイワサービスが行う計画だということ

です。どう評価すべきなのでしょう？

こんにちは日本共産党

内部留保活用で賃上げを

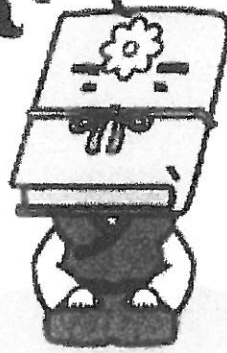
安倍首相は、国会の所信表明演説や代表質問に対する答弁で、「企業収益の拡大を賃金上昇や雇用拡大につなげていく好循環を全力で実現してまい

ります」と何度も繰り返しました。企業が利益を拡大しても賃上げや雇用の拡大につながらないことは、国民が肌身で感じている実感です。最近のNHKの世論調査でも、安倍内閣の経済政策で賃金が上がると思うかという問いに「上がる」といふ答がわずか1%で、「上がらない」が半数近い

46%でした。首相が本気で賃上げを実現しようと思えば、財界に対して内部留保の活用による賃上げを正面から求めるべきです。内部留保のたった1%活用するだけで月1万円の賃上げが可能な大企業が8割です。法人税減税は内部留保を増やすだけです。

憲法改定のハードルを下げる96条の改定を断固阻止しよう!

憲法改定は容易にせよ



ホーケン師匠

日本共産党カワサキ部HPより ホーケン師匠

映画 渡されたバトンはさよなら原発

この映画は、新潟・巻町(現・新潟市西蒲区)で、原発建設をめぐる、四半世紀という長年にわたるたたかいで、住民投票を実現し、原発建設を阻止した実話をベースに、原発の是非を問ひかけます。

博穂、出演は市場真人、高林由起子ほか。主催は「渡されたバトン さよなら原発」上映実行委員会441-5090(和歌山民団連内)

11月28日(木)

10:30 ~ 前巻券あり
14:00 ~ 前巻券あり
18:30 ~ 前巻券あり

3回上映です
県民文化会館 小ホール

料金 一般 1,000円 (当座 1,500円)
高校生 800円
以下 (同 1,000円)

本作は「日本の青空」シリーズの3作目。脚本はジエームス三木、監督は池田